



Around50からGrace Age前半に聞いた 「自立生活（要支援・要介護ではない）を送っている親」についてのアンケートまとめ①

Around50（46歳～55歳）からGrace Age前半（56歳～65歳）女性に、「自立生活（要支援・要介護ではない）を送っている親」について聞いた。

<親の身体・健康について、知っておきたい・情報が欲しいこと/今、実際に困っていること・悩んでいること> 【P 5】

親の身体・健康について知っておきたいことは、「足腰の衰えへの対策」「認知症発症など健康変化の発見方法」「記憶力低下・物忘れへの対策」が5割を超える。

現状、困っていること、悩んでいることのトップは「足腰の衰えへの対策」で56.1%。年齢が上がる（＝親が高齢になる）と8割近くが悩みとしてあげている。

<親の生活・暮らしについて、知っておきたい・情報が欲しいこと/今、実際に困っていること・悩んでいること> 【P 6】

親の生活・暮らしについて知っておきたいことは「高齢者特有の行動や思考回路」が47.2%とトップ。年齢が上がる（＝親が高齢になる）につれ増加している。

現状、困っている・悩んでいることは、「高齢者特有の行動や思考回路」「親の家の片づけ、不要物処分」が4分の1。50代後半は「高齢者特有の行動や思考回路について」困っているが、4割に達している。

<親が自立生活ができないと判断するのはどんなときか？/自立生活ができなくなったらどうするか> 【P 7-8】

自立生活ができるか、いつまで一人暮らしをさせておいていいのか…の判断は難しいところだが、足腰が弱り外出が難しくなったり、物忘れがひどくなるといった要素が判断基準としてあがった。自立生活ができないと判断したら「介護ヘルパーに来てもらう」33.9%。同居は10%前後と少なめ。

<親の資産や相続について、具体的に話したことはあるか？/話せていない理由> 【P 9】

親の資産や相続などお金関連について「全く話せていない」は40代後半で46.4%、50代前半で37.0%、50代後半から60代になると2割前後と少なくなる。とはいえ「なんとなく話したことがある程度」が最も多く5割なので、どこまで把握できているかは、微妙だ。

親と話せていない理由は、「自分もよく分からない」が42.7%と、親への遠慮よりも、自身の知識のなさをあげる率が高い。



Around50からGrace Age前半に聞いた 「自立生活（要支援・要介護ではない）を送っている親」についてのアンケートまとめ②

＜親の資産や生命保険など、どの程度あるか知っているか？/自分の老後を考えると、親の遺産や保険金をアテにしているか？＞【P10】

親とお金の話ができていくかどうか同様、資産等が把握できている率は、50代後半から高くなる。しかし、こちらも最も多いのは「だいたい知っている」。お金の管理は、まだまだ元気な親に任せているのが実態だろう。

親の遺産をアテにしている（大いに+少し）のは23.2%。

＜親の身体・健康、生活・暮らしなどについて、専門機関に相談したことはあるか？/どのような場所で何を相談したか＞【P11】

親のことを専門機関に相談したところがあるのは、50代前半までは1割前後。50代後半で2割強とやや増える。

相談したことがある人に具体的な相談先を聞くと、ほとんどが病院や役所。入院を機に医者や病院のケースワーカーなどに相談した例が多い。要支援・要介護ではない親についてということもあるせいか、役所に相談したが、具体的な回答は得られなかった、という声も見られた。

＜専門機関に相談したことがない人に、どのような相談窓口があつたらいいと思うか？＞【P12】

介護支援以前でも、身体のこと、暮らし・生活のことを**気軽に、また総合的・全般的に相談できる窓口が欲しい**という声が多い。

まだまだ元気で**年寄り扱いされるのを嫌う親の気分を害することなく相談がしたい、老人とのコミュニケーションを教えてほしい**との声も。



■ 設問

- Q1 親の身体・健康について、知識として知っておきたい・情報が欲しいこと
- Q2 親の身体・健康について、今、実際に困っていること、悩んでいること
- Q3 親の生活・暮らしについて、知識として知っておきたい・情報が欲しいこと
- Q4 親の生活・暮らしについて、今、実際に困っていること、悩んでいること
- Q5 親が自立生活ができないと判断するのはどんなときだと思いますか？
- Q6 親が自立生活ができないと判断したら、あなたはもうどう思いますか？いまの時点で考えていること
- Q7 親の資産や相続について、親と具体的に話したことはありますか？
- Q8 Q7で「何となく話したことがある程度」「全く話していない」と答えた方に。親と相談していないのはなぜですか？
- Q9 親の資産や生命保険など、どの程度あるか知っていますか？
- Q10 自分の老後を考えると、親の遺産や保険金をアテにしていますか？
- Q11 親の身体・健康、生活・暮らしなどについて、専門機関に相談したことはありますか？
- Q12 相談したことがある人に。どのような場所で何を相談したか、具体的にお書きください。
- Q13 相談したことがない人に。どのような相談窓口があったらいいと思いますか？ご自由にお書きください。

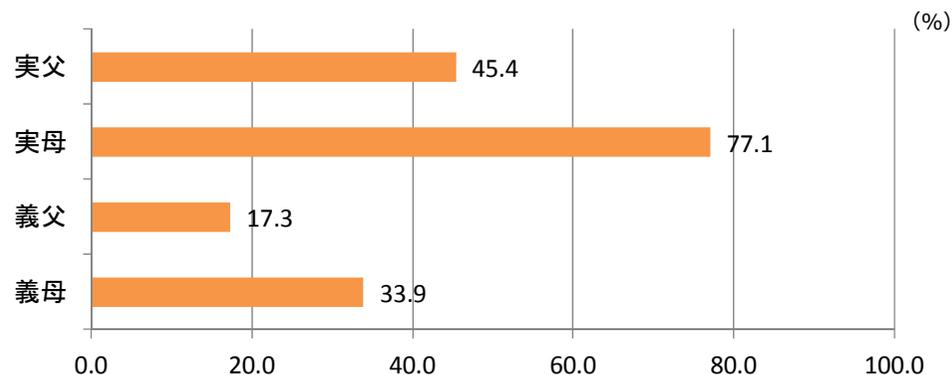


■ 回答者プロフィール

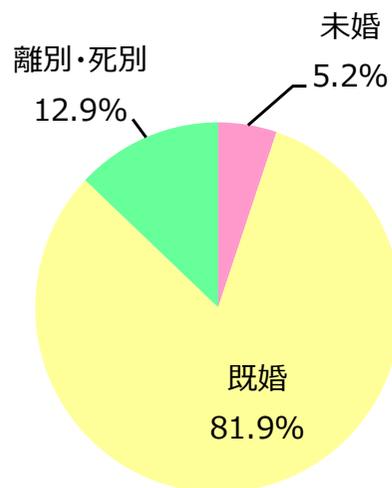
【年 齢】

	n
46歳～50歳	125
51歳～55歳	92
56歳～60歳	40
61歳～65歳	14
全体	271

【自立生活（要支援・要介護ではない）を送っている高齢の親との関係】



【結 婚】

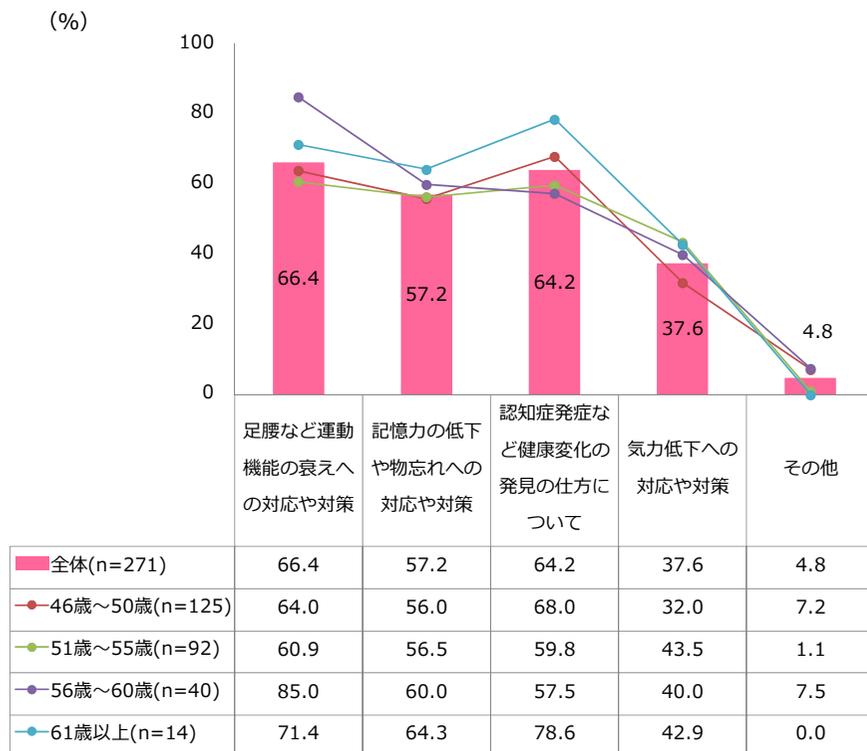


【居住地】

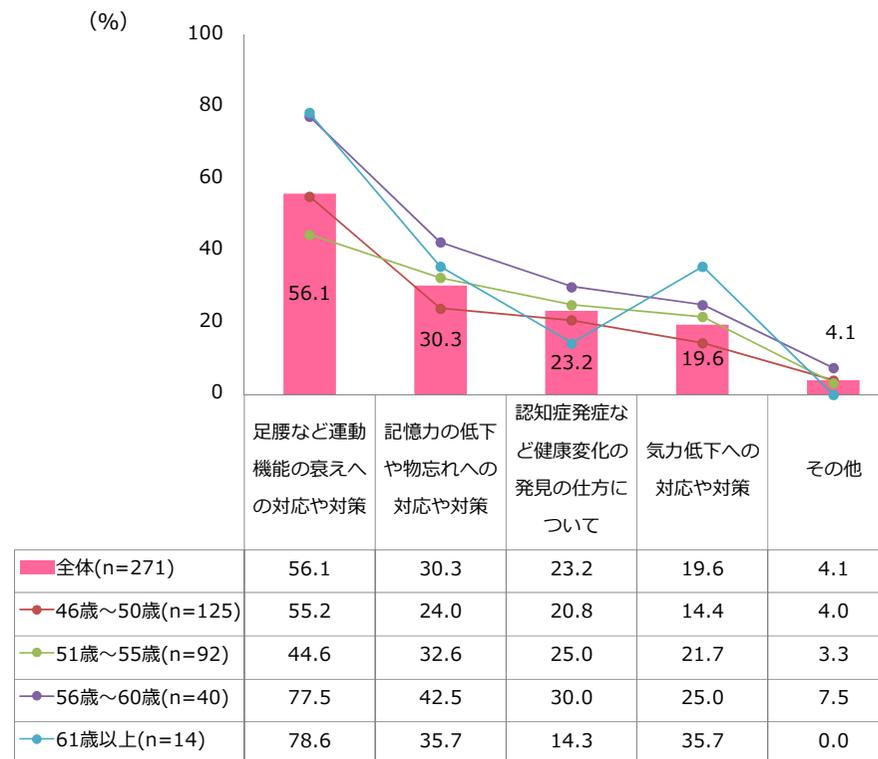
	n	%		n	%
宮城県	17	6.3	滋賀県	3	1.1
福島県	3	1.1	京都府	22	8.1
茨城県	1	0.4	大阪府	40	14.8
栃木県	1	0.4	兵庫県	35	12.9
埼玉県	8	3.0	和歌山県	1	0.4
千葉県	12	4.4	岡山県	1	0.4
東京都	46	17.0	広島県	4	1.5
神奈川県	39	14.4	香川県	2	0.7
石川県	2	0.7	愛媛県	1	0.4
静岡県	2	0.7	福岡県	8	3.0
愛知県	12	4.4	熊本県	4	1.5
三重県	1	0.4	鹿児島県	6	2.2
全体	271	100.0			



Q1. 親の身体・健康について、
知識として知っておきたい・情報が欲しいこと



Q2. 親の身体・健康について、
今、実際に困っていること、悩んでいること

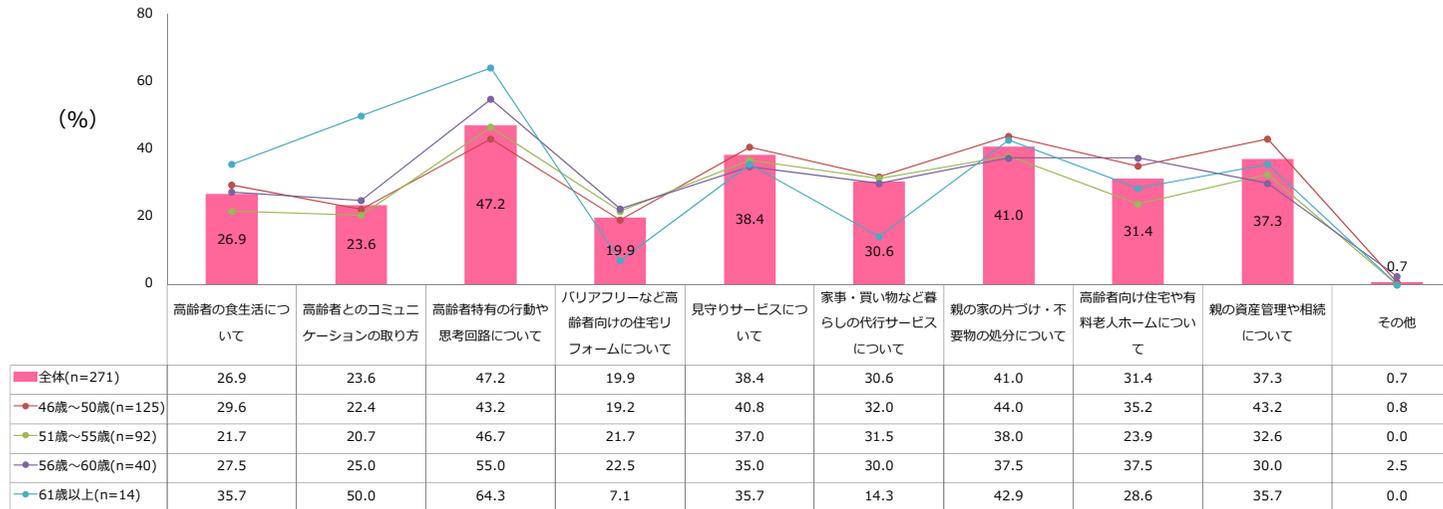


◆親の身体・健康について知っておきたいことは、「足腰の衰えへの対策」「認知症発症など健康変化の発見方法」「記憶力低下・物忘れへの対策」が5割を超える。

◆現状、困っていること、悩んでいることのトップは「足腰の衰えへの対策」で56.1%。年齢が上がる（＝親が高齢になる）と8割近くが悩みとしてあげている。



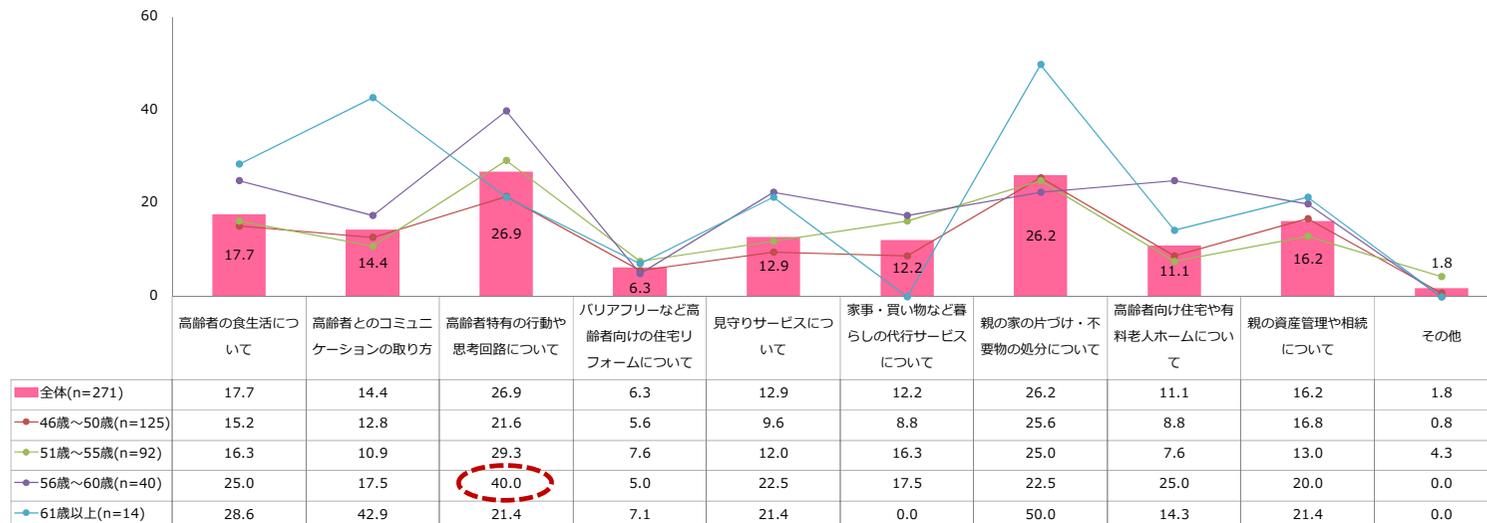
Q3. 親の生活・暮らしについて、知識として知っておきたい・情報が欲しいこと



◆親の生活・暮らしについて知っておきたい、情報が欲しいことは「高齢者特有の行動や思考回路」が47.2%とトップ。年齢が上がる(=親が高齢になる)につれ増加している。

◆現状、困っている・悩んでいることは、「高齢者特有の行動や思考回路」「親の家の片づけ、不要物処分」が4分の1。50代後半は「高齢者特有の行動や思考回路について」困っているが、4割に達している。

Q4. 親の生活・暮らしについて、今、実際に困っていること、悩んでいること

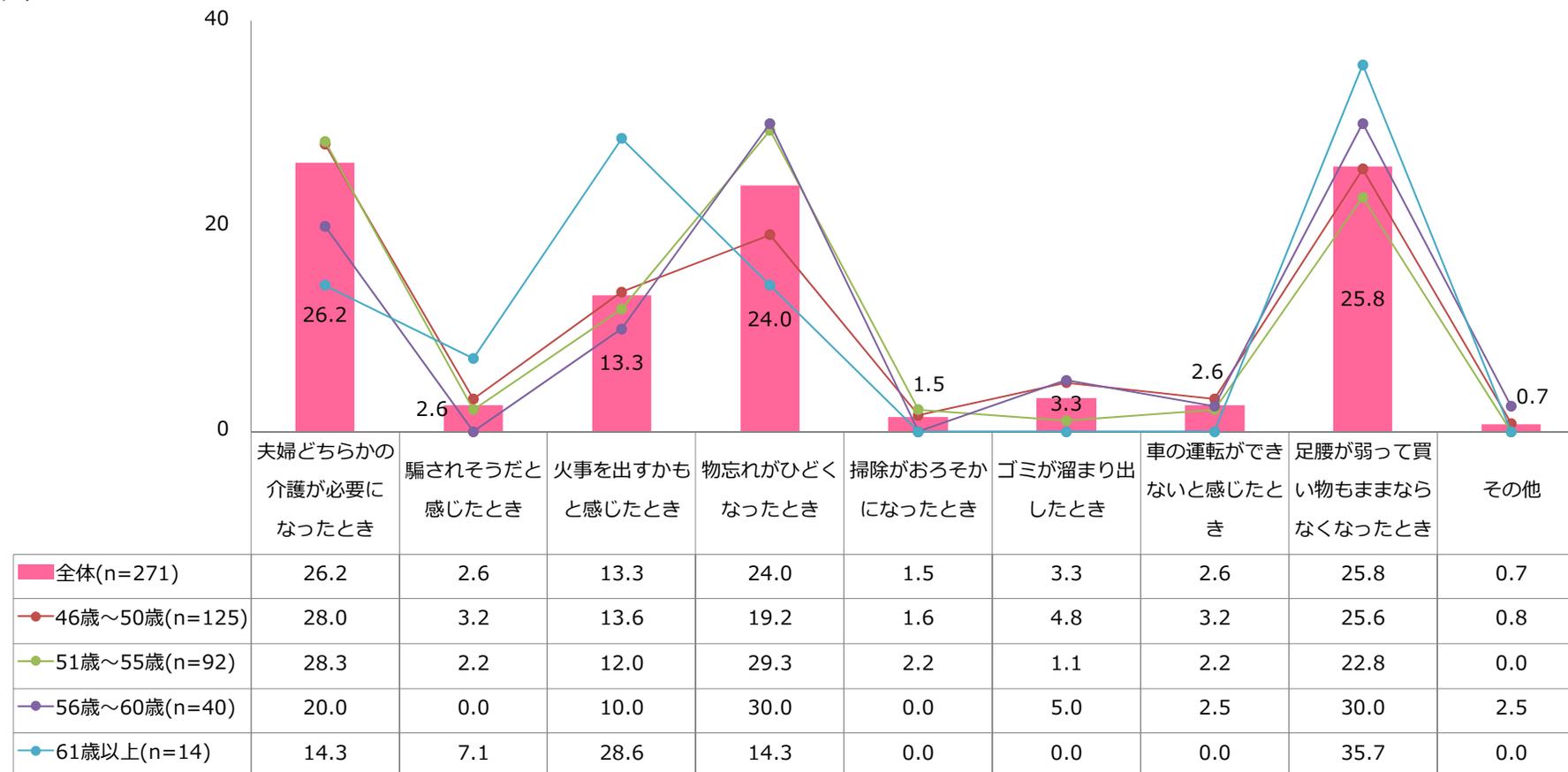




Q 5 親が自立生活ができないと判断するのはどんなときだと思いますか？

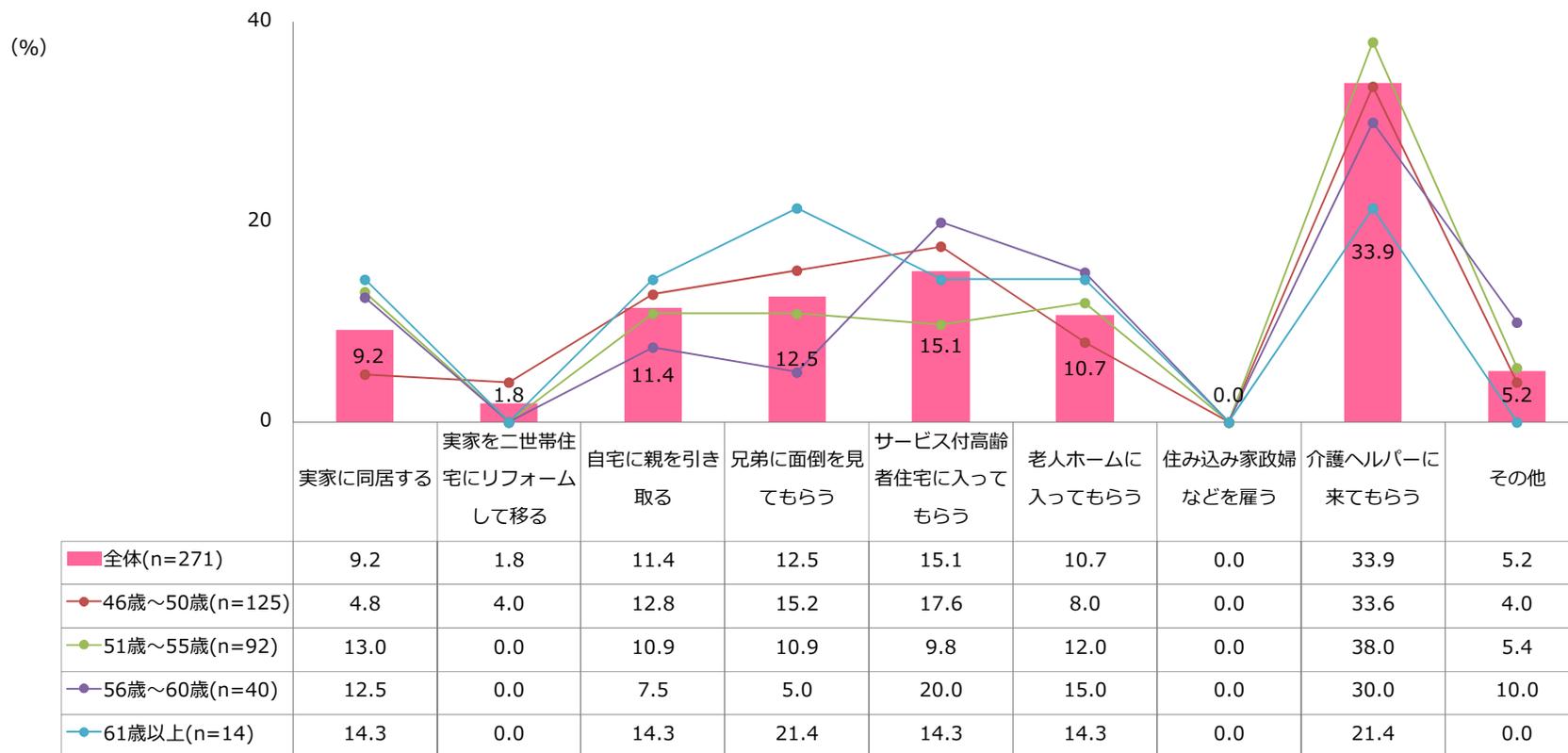
◆自立生活ができるか、いつまで一人暮らしをさせておいていいか…の判断は難しいところだが、足腰が弱り外出が難しくなったり、物忘れがひどくなるといった要素が判断基準としてあがった。

(%)



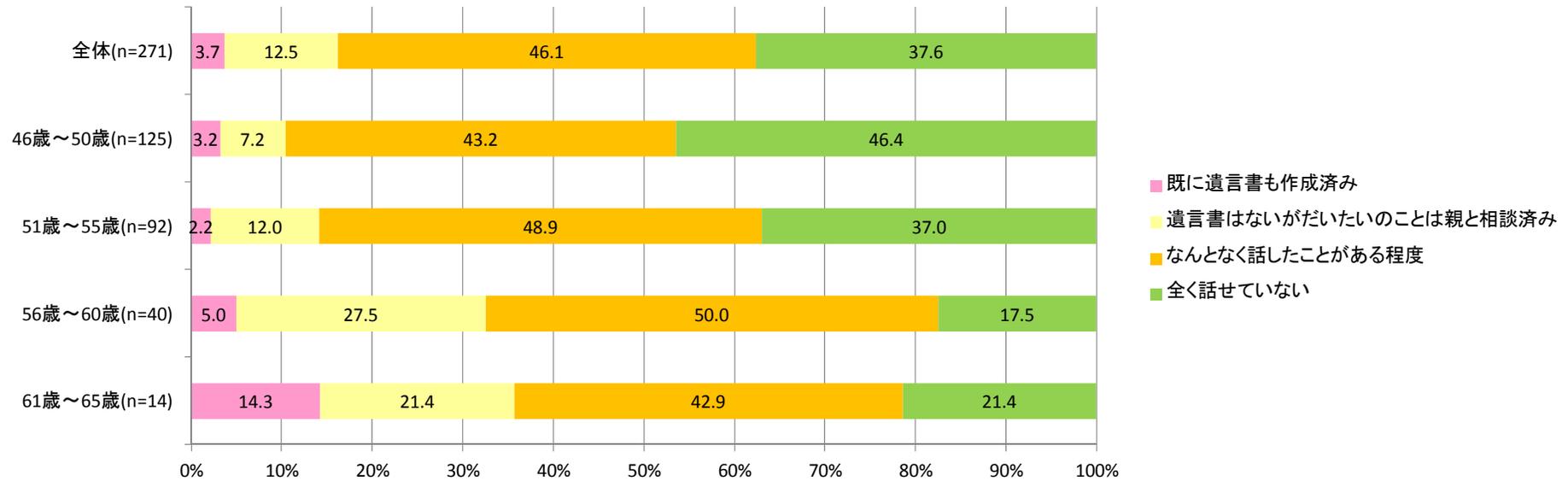


Q 6 親が自立生活ができないと判断したら、あなたはどのように思いますか？

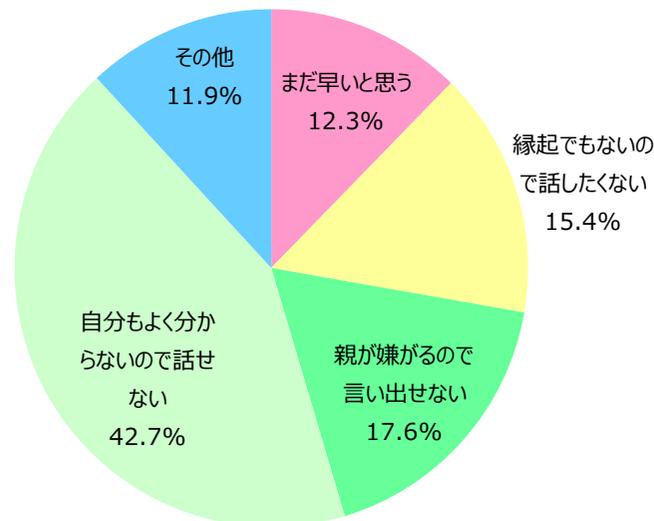




Q 7 親の資産や相続について、親と具体的に話したことはありますか？ (%)



Q 8 Q 7で「なんとなく話したことがある程度」「全く話せていない」と答えた方に。親と相談していないのはなぜですか？



◆ 50代後半から60代になると、親の資産や相続などお金関連について全く話せていないのは2割前後と少なくなる。とはいえ「なんとなく話したことがある程度」が最も多く5割近いので、どこまで把握できているかは、微妙だ。

◆ 親と話せていない理由は、「自分もよく分からない」が42.7%と、親への遠慮よりも、自身の知識のなさをあげる率が高い。



Q9 親の資産や生命保険など、どの程度あるか知っていますか？

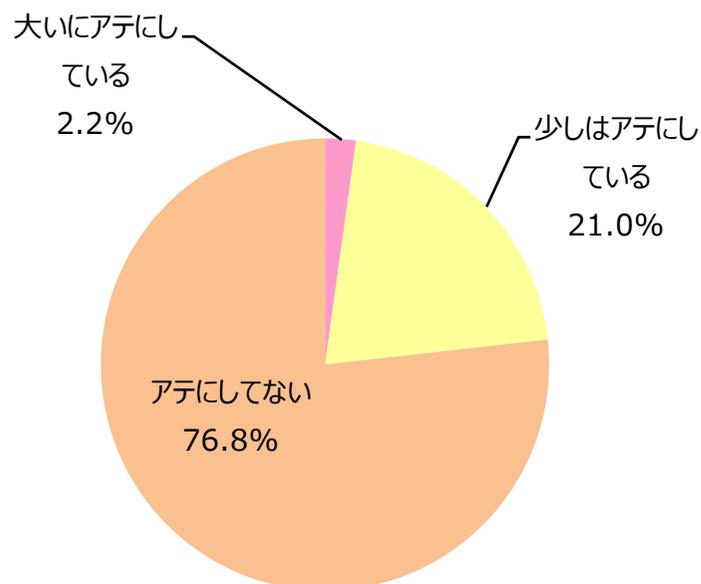
(%)



- 全て把握している
- だいたい知っている
- あまり知らない
- 全く知らない

◆親とお金の話ができていかどうか同様、資産等が把握できている率は、50代後半から高くなる。しかし、こちらも最も多いのは「だいたい知っている」。お金の管理は、まだまだ元気な親に任せているのが実態だろう。

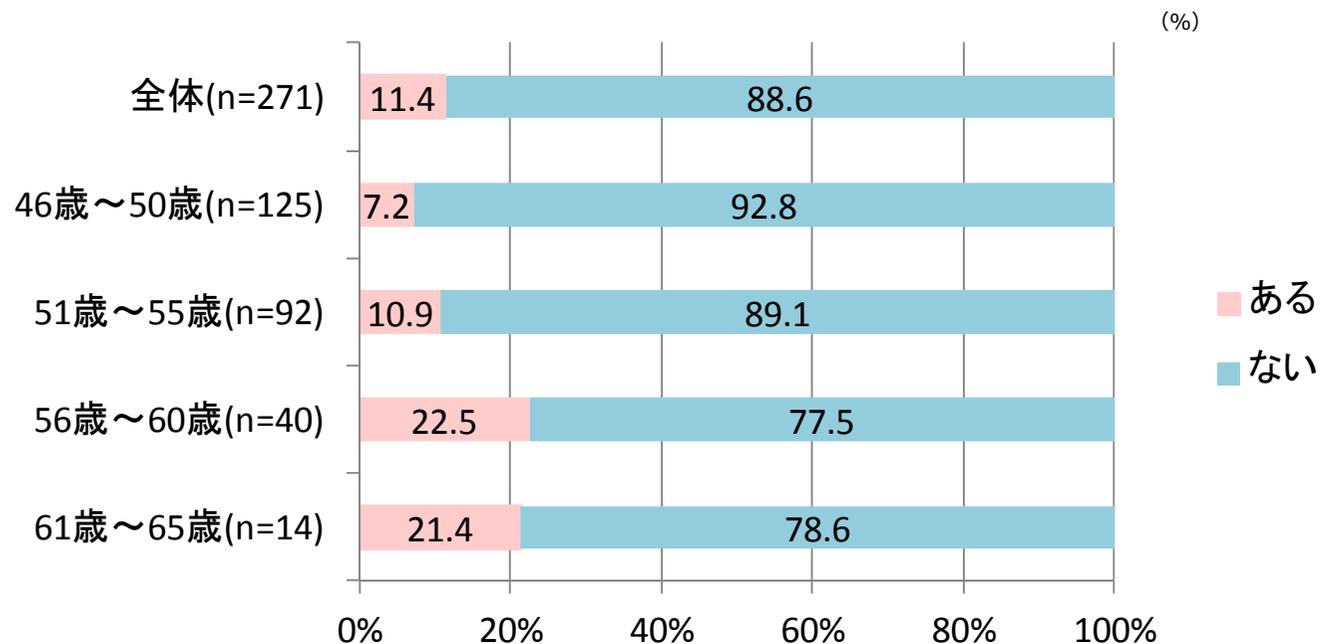
Q10 自分の老後を考えるときに、親の遺産や保険金をアテにしていますか？





Q11 親の身体・健康、生活・暮らしなどについて、専門機関に相談したことはありますか？

Q12 相談したことがある人に。どのような場所で何を相談したか、具体的にお書きください。



◆親のことを専門機関に相談したところがあるのは、50代前半までは1割前後。50代後半で2割強とやや増える。

◆相談したことがある人に具体的な相談先を聞くと、ほとんどが病院や役所。入院を機に医者や病院のケースワーカーなどに相談した例が多い。要支援・要介護ではない親についてということもあるせいか、役所に相談したが、具体的な回答は得られなかった、という声も見られた。

ある
ない



Q13. 専門機関に相談したことがない人に、どのような相談窓口があったらいいと思いますか？ フリーアンサー抜粋

- ◆介護支援以前でも、身体のこと、暮らし・生活のことを気軽に、また総合的・全般的に相談できる窓口が欲しいという声が多い。
- ◆まだまだ元気で年寄り扱いされるのを嫌う親の気分を害することなく相談がしたい、老人とのコミュニケーションを教えてほしいとの声も。

年齢	都道府県	
46	和歌山県	親が一人で生活しているが、どのような状態になった時にホームや同居を考えた方がいいのか？
46	広島県	相談窓口がどこにあるのかわからないので、そこから知りたい。相談窓口でどんな相談があるのかも知りたい。相談と言うより質問が先カモ…
46	大阪府	年老いた親についてのちょっとした心配事から、本格的な手続きまで、お買い物ついでにでも、何でも気軽に一つの窓口で相談できると、ありがたい
46	神奈川県	保険相談のような気軽に相談できる所が一般的になったら行きやすい
46	東京都	本当に些細なことを気軽に相談できる窓口。きっかけ作りができるところ
47	神奈川県	これから 何が 필요한のか 準備しておくといことなどを 細かく説明してくれるところ
47	東京都	外部に頼る場合のどの程度お任せしたほうがいいのかの相談や受け入れ先を教えてください
47	大阪府	気軽に相談でき、また、どこに相談に行けばよいかなど教えてくれる電話窓口があれば良いと思う
47	東京都	市役所などだけでなく、公民館や図書館など気軽に行ける場所に土日関係なく相談窓口があれば行きやすいと思う。
47	大阪府	自分の住んでいるところと親の住んでいるところが離れているので 親の住んでいる地域の相談窓口とのコミュニケーションがとりやすい方法があると助かると思う。
47	京都府	親が認知症かどうか、不安になった時、その判断を助言してくれる相談窓口があったらいいと思います。
47	神奈川県	親の生活全般を支援、相談を受けてくれる窓口 何を相談すべきかも分からないので
48	兵庫県	実家が遠いので何かあった時に見に行ってもらえる
49	兵庫県	スーパーなどの一角で役所職員や介護職員などによる無料相談所を定期的に開いて欲しい。
50	神奈川県	何を相談したら良いかもよくわからないので、セミナーがあったら参加してみたい。
50	兵庫県	気分を害する事なく、老後・相続などの話の進め方。
50	神奈川県	自立生活が可能か無理かを客観的に判断するための相談窓口
50	京都府	離れて暮らしているのですがすぐ状態を見てくれ相談に乗ってくれる窓口。
50	埼玉県	両親のために準備しておいた方がよいことや、身体や心の異変の気付き方、高齢者向き住宅や介護施設の選び方やかかる費用などを相談したいです。
51	東京都	メールなどで、24時間気軽に相談できたら、いいです
52	神奈川県	かかりつけ医と連携がとれ、健康状態も含めていろいろな相談ができる事
52	神奈川県	地域ではない人に相談したい。無料で相談できて、手続きもやってくれるところ。
53	愛知県	支援や相続の意思確認などトータルケアの窓口がひとつであるとありがたいかなと思います。
53	東京都	土日でもやっている無料相談
53	大阪府	本人が終活を意識してくれるようにするにはどうするか？
54	兵庫県	行政や民間を問わず気軽に相談できる窓口があれば良いなと感じています。
54	大阪府	死後家を引き取ってもらうかわりに現金を借りれる(家には住み続けられる)システムがあることは知っていますが、親の家でそれが可能か(立地等)、可能であればいくらぐらいかを知りたい。
54	大阪府	親本人はまだまだ元気だと思っているので、元気な人でも気軽にに行ける窓口
55	福岡県	親の住んでいる地域と自分の住んでいる地域との連動ができる相談窓口。
56	京都府	老人ホーム・高齢者住宅等の相談窓口 老後の生活全般の世話を委託する機関(組織)の相談窓口
58	東京都	しだいに頑固になっていく親とのコミュニケーションを指導してくれる相談機関があると良い
58	兵庫県	気軽に相談できて、親身になってくれる窓口。プライバシーが保たれること。お役所的な対応はイヤです。
58	鹿児島県	健康面、生活面、資産についてなど、プライバシーを守りながら、相談できるところがほしい
58	鹿児島県	年齢が高い人のお宅に 申請がなくても公共の方が 1年に1回位 見回りして 身体が不自由な方には こんな介護がありますよ。と紹介などしていた だければ良いな。と思います。なかなか自分で窓口まで行かないように思います。
59	神奈川県	遠方に住んでいるのですが、今(私が)住んでいるところから親が住んでいる自治体の窓口ですぐ相談できるようなシステムがあったらよいと思う。